



# 吸引について

吸引とは吸引用カテーテルを鼻又は口から気道内に入れ、カテーテルを通して分泌物を除去する方法です。

小さなお子様は、鼻孔やのどに溜まった分泌物を咳などによって上手にだすことができません。

分泌物が鼻孔やのどに溜まると、空気の通りが悪くなり、呼吸が苦しくなる原因となります。

『吸引』はこれらの余分な分泌物を器械的に取り除くために行います。

## 必要物品を用意しましょう

- 吸引カテーテル                      フレンチ Fr
- 容器（水道水入れ）
- ティッシュペーパー
- 吸引器



吸引器

容器

吸引カテーテル

## 吸引の準備をしましょう

① お子様の分泌物の状況、呼吸状態はどのような様子かを観察しましょう。

### チェック!

お子様の状態はどうでしょうか？

- ❗ 鼻がつまっていませんか？
- ❗ のどの奥がごろごろしていませんか？
- ❗ 息はしっかり吸えていますか？
- ❗ 胸部を触ってみて、グーグーいう所はありますか？

② 吸引器の電源を入れ、吸引圧が掛るか確認をします。

\* お子様の状態により圧調整を行いますが、小児では 150mmHg (20Kpa) 程度以下とします。

新生児	60 ~ 80 mmHg 8 ~ 11Kpa
小児	80 ~ 100 mmHg 11 ~ 16Kpa
成人	100 ~ 150 mmHg 16 ~ 19Kpa

※年齢別吸引圧の目安を示しますが、吸引器によって吸引圧の確認が必要です。

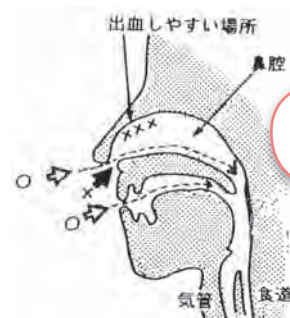
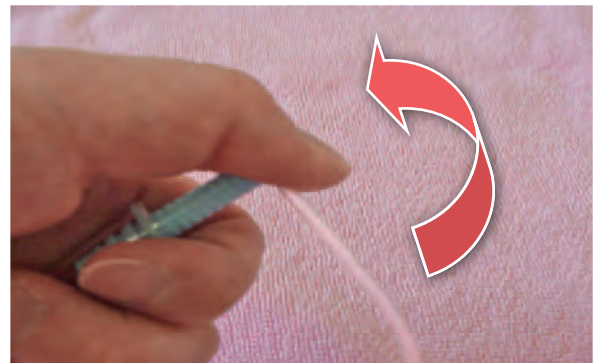
- ③吸引によって新たな感染を引き起こさない為に、吸引を行う方は手を洗いましょう。  
吸引器に吸引カテーテルを接続します。



## 吸引をしましょう

- ①吸引カテーテルを折り曲げて、鼻または口の中に入れます。  
(折り曲げることにより、カテーテルの先端に吸引の圧が掛らなくなりなります)

- \*鼻汁の場合は鼻の奥、喉の痰の場合は口の奥までカテーテルを入れます。  
(カテーテルの挿入の長さは、お子様の鼻～耳～喉までの長さを目安にします)



… はカテーテルの挿入経路  
○の方向へカテーテルを入れて吸引する

- ②鼻または口の中までカテーテルが入ったところで、折り曲げをもどし（先端に圧が掛る）、ゆっくり引き抜き抜きながら、円を描くようにカテーテルを回転させて吸引します。

- \*吸引自体はお子様にとって苦しいことです。  
1回の吸引時間は5～10秒以内を目安にします。

- \*続けて吸引を行う場合は、お子様の呼吸や顔色、口唇色など状態を見ながら行いましょう。  
間隔をあけてお子様が落ち着いてから行って下さい。

- \*しっかり呼吸ができていないと、体中の酸素濃度が下がって危険です。



- ③分泌物が吸引カテーテルの内側に溜まったり、外側にたくさんついた時には、ティッシュペーパーなどでぬぐい、水を吸って汚れを洗い流してから、吸引を行いましょ。
- ④吸引が終わったら、カテーテルの外側をティッシュペーパーなどでぬぐい、水を吸って内部の汚れを洗い流します。  
最後に、カテーテル内の水分も吸い上げて、できるだけ内側に水分を残さないようにし、自然乾燥させることが望ましいです。
- ⑤水道水の容器は毎日よく洗い清潔にしておきましょう。  
吸引器に接続されているホース内もいつもきれいにしておきましょう。



### チェック!

吸引をしたあとのお子様の状態はどうでしょうか?

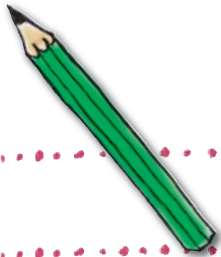
- ❗ 鼻のつまりはとれましたか?
- ❗ のどの奥のごろごろ音はとれましたか?
- ❗ 息はしっかり吸えていますか?
- ❗ 胸を触ってみて、グーグーいう所はありますか?



※吸引チューブなどの医療廃棄物は、一般の家庭ゴミとして出せない場合があります。廃棄方法については、かかりつけの医療機関にご相談下さい。

※吸引について、困ったことや解らないことなどがあつた場合は、かかりつけの病院または、こども病院外来までご相談ください。

memo



A series of horizontal dotted lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice. The lines are evenly spaced and extend across most of the page's width.

